

資料簡報第三五號

治安状況調査 三ア

当室二部保管
支那事變政史編纂室

興亜院東支隊部

陸軍省
15.11.22
大臣官房

陸軍省
15.11.20
編纂部

陸軍省
15.11.28
防衛課

陸軍省
15.11.25
軍務課

陸軍省
15.11.22
編纂部

0483



治安狀況調査

上海、南京、徐州（江蘇省）
 開封（河南省）
 太原、榆次（山西省）
 保定、滿城（河北省）

興亞院華北連絡部

昭和十五年十月廿四日
資料簡報第十五號

多田	昭	和	年	月	日
本部	參	四	經	第	二
本部	隊	第	二	八	號

政務局調査所

配 付 先

一、部	内（政務局庶務室渡）	一	三
一、興亞院蒙疆連絡部		一	三
一、興亞院華北連絡部	青島出張所	二	三
一、興亞院華中連絡部		二	三
一、 "	南京派遣員事務所	一	一
一、 "	廣東派遣員事務所	一	一
一、廈門連絡部		三	部
一、本院政務部	參謀本部支那課長	二	三
	陸軍省軍務課長	一	四
	陸軍省大臣官房	一	部
	ヲ含ム		
一、多田部隊本部		二	部
一、北京日本憲兵隊司令部		一	部
一、北京海軍武官室		五	部
計		八	七部

0485

一、本調査ハ昭和十五年二月十四日より三月九日ニ至ル間新民學院職員
松本多利衛ヲシテ出張調査セシメタル報告ナリ
参考ノ爲配布ス

0486

目次

- 其ノ一、上海及其ノ附近
- 其ノ二、南京
- 其ノ三、徐州
- 其ノ四、開封
- 其ノ五、太原及榆次
- 其ノ六、保定
- 其ノ七、滿城

緒言

東亞新秩序ノ建設ヲ舉國ノ大念願トシテ聖戰ヲ起シテヨリ茲ニ二年有餘
 半ノ歲月ヲ經過スルニ至ツタ此ノ間我カ帝國ハ總コル機關ヲ動員シテ聖
 戰完遂ノ彼岸ニ到達ヲ急キ十萬ノ尊キ生靈ト國幣百數十億ノ莫大ナル犠
 牲ヲ願ミス一意邁進ヲ續ケテキル又勇猛果敢ナル皇軍ノ將兵ハ凡コル困
 苦ト缺乏トヲ克服シテ赫々タル庸懲ノ戰果ヲ獲得シ新秩序建設ヘノ大道
 ヲ眞直ニ前進又前進着々トシテ其ノ效果ヲ發揚シテキル

今ヤ中國ハ汪兆銘氏ヲ中心トスル新政權モ將ニ成立セントシテキル此ノ
 誕生コソハ事變處理ニ一階段ヲ齎ラシ中國再建設ヘノ偉大ナル段階ヲ劃
 スルコトデアロウ然シナカラ足ヲ一度實在ノ巷ニ踏ミ入ルレハ戰禍ニ暴
 サレタル都市ト言ハス農村ト言ハス其ノ復活ハ爾ク容易ノ業テハナイ況
 ヤ無智、媚日、恐日、侮日、排日、抗日、共產主義等紛然タル思想環境
 ノ中ニ民心ヲ把握收攬シテ新東亞建設ノ大道ニ就カシムルコトハ極メテ
 艱難デアロウ然リ而シテ此ノ難行ヲ克服シ把握シテ民心ヲ基礎ニ政治、
 文化、經濟、産業、交通等ノ諸建設ハ運營セラレ始メテ東亞ノ新秩序ハ
 建立シ同時ニ援蔣ノ利權ヤ共產黨ノ魔手ハ防遏絶滅ヲ期シ得ル實ニ民心

ノ把握収攬コソハ甲國ノ治安ヲ促進スル唯一ノ策ト信シテ疑ハサル所テ
アル今回中、北支一部ノ治安状態ヲ視察シ得タリ固ヨリ日ヲ經ルニ順ヒ
テノ状況ノ變化スルコトハ言ヲ俟タサル所ニシテ當時ト現在トニ於テハ
異ナル所多カラシモノ視察當時ニ於ケル實狀ノ概要ヲ述フルコト、セリ

其ノ一、上海及其ノ附近 調査日自二月十四日至二月十八日

一、治安狀況

(1) 晝間

共同地帯及海^上近郊ノ治安ハ大體ニ於テ可ナルモ日本人又ハ親日者等
ノ單獨行動ハ未タ保證シ難キ狀況ニ在リ租界内ニ於テハ一層危險ナ
リ英佛租界トノ交通ハ學變後制限サレアリシカ二月十四日午前十時
上海軍特別陸戰隊ハ左ノ如ク交通制限ヲ廢止スル旨ヲ發表シテ交通
ノ制限ヲ撤廢スルニ至レリ上海軍特別陸戰隊警備地區内ニ於ケル治
安ノ現狀ニ鑑ミ明十五日午前零時以後當陸戰隊ノ警備擔任區域内ニ
於ケル支那人ニ對スル通行證及家族復歸許可證ハ之ヲ廢止ス但シ戶
主ノ復歸許可證ハ從來通り必要ナリ同時ニ第三國人及支那人ノ夜間

交通時間ノ制限ヲ解除ス尙必要ニ應シ通行支那人ノ身体検査及携帶
 品ノ検査ヲ行フコトアリ以上ハ一般支那人及第三國人ノ不便ヲ察シ
 治安維持上差支ナキ範圍ニ於テ居住交通ノ制限ヲ緩和セントスル趣
 旨ニ基キ差シ當リ現場ニ於テ許シ得ル措置ヲ執リタルモノヲ以テ一
 般支那人及第三國人ニ於テハ我方ノ意圖スル處ヲ諒トシ治安ヲ紊
 スカ如キ行爲ナキ様此ノ際特ニ自肅自戒シ再ヒカ、ル制限實施ノ已
 ムナキニ至ラシメサル様留意ヲ望ム
 英佛租界トノ交通制限ハ昭和十二年八月十三日上海ノ我カ海軍陸戰
 隊警備地區一帯力交戰地トナルヤ工務局警察カ蘇州河以北ヨリ撤退
 スルニ至ツタノテ我カ海軍陸戰隊テハ以來同地區治安維持ノ萬全ヲ
 期シ支那人及第三國人ノ交通制限ヲナシテ來タカ最近治安モ大体平
 常ニ復スルニ至ツタノテ十五日午前零時ヲ期シ足掛ケ四年振リテ交
 通制限ノ一切ヲ解除スルニ決定シタ從テ蘇州河上ニ於ケル「ジャン
 夕」ノ通行證ハ固ヨリ「ガーデンブリツチ」四川路橋、乍路橋等ハ
 通行證ニ關スル限リニ於テ自由ニ開放サレ、租界ト虹口一帶浦
 東ハ事變前ノ常態ニ復スルコトニナツタ然カシ海軍當局テハ必要ニ

應シテ隨時隨所ニ於イテ通行支那人ノ身體検査、携帶品ノ検査ヲナシ治安攪亂者ノ管戒ニ任シ治安維持ノ萬全ヲ期スル意向ヲアル交通制限解除ハ第三國人及一般支那人待望ノ擧柄丈ケニ海軍今同ノ措置ハ好感ヲ以テ迎ヘラレテキル

(2) 夜間

英佛租界内ハ無論共同地帯内ト雖トモ單獨行動ハ頗ル危険ナリ時々強盜又ハ便衣隊等ニ襲撃強奪等ヲ受ク之カ爲メ旅館等ニ於テモ夜十時以後ハ宿泊客ノ出入ヲ嚴禁シ戸締リヲ嚴重ニナシアリ

二、交通

(1) 鐵道

上海ヨリ南京及杭州間ノ鐵道ハ一日二回ノ運轉アリテ概ネ良好ナル狀況ニアリト雖トモ夜間ハ未タ危険ナルヲ以テ晝間ノミナリ杭州間ノ鐵道ハ今尙時々爆破ヲ被リ或ハ襲撃ヲ受クルコトアリ二月十八日杭州ヨリ上海行キノ客車ハ松江附近ニ於テ敗殘兵ノ襲撃ヲ受ケタリ

(2) 電話電信

概シテ良好ナル状態ニアルモ亦時々電線ノ切斷或ハ電柱ノ燒却等ヲ

受クルコトアリ

治安維持ノ對策

(1) 同市ニ於ケル治安維持ノ實行方法ハ英佛租界及「ボケツト」地帯ニ
 難民所ヲ除ク以外ハ日本軍隊日本領事館警察及上海特別市警察隊
 ニヨリ維持セラレ而シテ吳淞路ヲ中心トセル虹口地域ハ海軍陸戰隊ニ
 於テ其ノ他ノ周圍ノ地域ハ日本陸軍ニヨリ警備セラル尙此ノ間ニ在
 ツテ日本領事館警察ト上海特別市ノ警察トカ連絡協同シテ主トシテ
 上海特別市政府ノ勢力範圍内ノ治安ニ任ス
 又英佛租界及共同租界ノ一部ハ兩國軍隊及工部局警察ニヨリ專ラ警
 備セラル

其ノ他兩支ト稱スル特別地區ニ於テハ青年團ノ設ケアリ上海特別市
 教育局ノ下ニ青年學校ヲ設立シ日本特務機關ノ指導ノ許ニ夜間八時
 ヨリ翌朝五時ニ至ル間主トシテ租界ニ對スル警戒ノ責ニ任シ租界ニ
 通ツル各路ノ要所ニ數人宛配置セラレ日本警備隊（陸軍）及警察ト
 連絡シ巡視ノ方法ニヨリ警戒ス

四 上海ニ對スル所感

上海ハ各國人混居ノ頗ル複雑極マル都市ニシテ黃浦口及蘇州河以南ニハ所謂河向ヒト稱スル英佛租界ナルモノアリテ日本及上海特別市政府ニ對シ極端ナル反感ヲ有スル「テロ」團ノ濫床アリ又一方暴變ノ爲メ避難セル難民中ニテ住ムニ豕ナク食スルニ米麵ナクタメニ惡質ノ強盜トナリ晝夜ヲ間ハス屢々良民ヲ襲ツテハ掠奪ヲ擅ニシ居レリ又都市ノ外國ニハ敗兵ニシテ匪賊ト化シタルモノ又ハ遊撃隊或ハ便衣隊等未タ其ノ跡ヲ絶タサルヲ以テ治安完全ナラスト雖トモ近ク汪精衛氏ノ新中央政府權成立ト共ニ漸次事變前ノ状態ニ回復スヘキコト、信ス

其ノ三、南京 調査日自二月二十一日至二月二十二日

一、治安狀況

(1) 晝間

城内ハ單獨行動ヲナスモ殆ント危険ナク治安状態頗ル良好ナリ
城外ハ城壁ヲ距ル數支里ノ間ハ可ナルモ遠サカルニ從ヒ危険ナリ

(2) 夜間

城内ハ大体ニ於テ危険ナキモ單獨行動ハ未タ保證シ難シ城外ニ於テハ一層危険ナリ

二 交通

(1) 鐵道

同地附近ノ鐵道ハ最近著シク良好ナル状態ヲ續ケ晝夜共ニ被害ヲ受クルコトナキモノ、如シ

(2) 電信電話モ概シテ被害ナキニ至レルモ時ニ電線等ヲ切斷サル、コトアリ但シ最近ハ著シク減少セリ

三、治安維持ノ對策

(1) 同市ハ城ノ内外ヲ問ハス專ラ日本陸軍ト支那警備隊及警察隊ノ協同ニヨリ維持サレアリ

同地ニハ緩靖軍官學校及緩靖軍士教導隊カ有リ目下日本將校指導ノ下ニ主トシテ將校及下士官ヲ養成シ之ヲ幹部トシテ揚子江下流七地區（南京、常熟、無錫、蘇州、杭州、蚌埠、蘆州）ニ約三萬ノ武裝部隊ヲ配備シテ專ラ治安維持ニ任ス
又外ニ緩靖水巡隊トイフ海軍ヲ有シ軍艦四隻ヲ揚子港ニ浮ヘ皇軍ト

協力シテ楊子江沿岸ノ警備ニ任シテキル

上海ニハ汪精衛自身團長ノ陸軍中央軍官訓練團アリ二月末第一回ノ卒業生約五百名ヲ出シ是等カ將來新國軍ノ幹部トシテ巢立チ青天白日旗ヲ翳シテ近ク南京ニ於テ訓練團總隊長張誠少將ノ指揮ノ下ニ新政府ノ近衛師團トモイフヘキ親衛隊ヲ編成中デアル

- (2) 警察隊ニモ武裝警察隊アリ若干ノ機關銃及小銃ヲ有シ日本憲兵大佐カ主席顧問トナリ中尉以下ノ日本憲兵將校カ教官トナリテ指導シアリ又警察學校ニハ日本憲兵少佐カ教官主任トナリテ教育及訓育シアリ
- (3) 日警團ハ内政部長ノ下ニ各縣ヨリ選抜シタル青年ヲ以テ模範的親日團ヲ組織シ精神的結合ヲ主トシ而シテ是等青年ニハ何等報酬ヲ給セス俸給ヲ受クルカタメニ行ナハネハナラヌトイフ代價的觀念ヲ去リ俸給ハ受ケストモ自分ノ村或ハ部落ハ自分等カ自ラ護ルヘキモノテアルトイフ眞ノ自覺ノ許ニ實行スル様指導シアリ將來ハ眞ノ自衛團ニ改組スル筈ナリト

四 南京ニ對スル所感

上海ヲ見テ來タ眼テ南京ヲ見ルト諸事整然トシテ流石ニ維新政府ノ

所在地タルヲ感セシメ治安ノ状態モ亦格段ノ差カアル近ク汪政權ヲ迎ヘントスル喜色モ何處トナク窮ハレタカ南京ニ於ケル豪商等ノ大部ハ今尙上海ニ逃レテ歸京セサルモノ相當ノ數ニ上ル所ヨリ之ヲ考察スルトキハ治安モ未タ完全トハ言ヒ難キカ

其ノ三、徐州

調査日二月二十五日

(1) 晝間

城内ハ殆ント平穩ニシテ恙シタル危険ナキモ城壁ヲ離ルニ三支里ノ部落ニ於テハ例ヘ晝間ト雖モ匪賊又ハ敗殘兵力徘徊シ單獨行動極メテ危険ナリ

(2) 夜間

城内ニ於テハ概ネ安全ナルモ單獨行動ハ未タ危険ナリ爲メニ同地ニ勤務スル新民學院卒業生等モ危険ヲ顧慮シテ各所ニ分宿スルコトヲ避ケ公署内ニ合宿シアリ城外ニ於テハ一層危険ナリ

二、交通

(1) 鐵道

隴海線ニ於テハ本年ニ入りテ以來殆ント被害ナキモ津浦線ハ被害相當ニ多ク特ニ徐州ヲ中心トシテ南方ニテハ三鋪、曹村驛間北方ニ於テハ柳泉驛及其附近ニハ屢々鐵路ノ爆破又ハ襲撃ヲ受ク而シテ徐州ヲ遠サカルニ從ヒ此等ノ妨害減少ス

(2) 電信電話

各所共ニ時々電線ノ切斷又ハ電柱ノ燒却ヲ受ク

ニ 治安維持ノ對策

(1) 徐州及其ノ他ノ各縣公署所在地又ハ主要ナル部落ニハ日本軍ヲ分散配置シテ中國側ノ警備隊及警察隊ト密接ナル連絡ヲトリ協同シテ時々討伐ヲナシ治安維持ニ努メアリ彼等匪賊ハ討伐ヲ受クルヤ其ノ時ニハ忽チ四散スルモ討伐隊カ守備地ニ歸リタルヲ知ルヤ數日ナラスシテ集合シ時トシテハ積極的ニ襲撃シ來ルコトサヘアリ此ノ地方ノ敵匪ハ干學忠麾下ノ約三個師ノ兵力ニシテ最近補充ヲ完了シ其ノ勢力侮リ難キモノアリ

又彼等ノ行動ハ蔣介石ノ命令ヲ克ク嚴守シ其ノ命令通り行動ス例ヘハ何月工作ヲ命令サル、ヤ少シモ誤ルコトナク實行スル等系統的ニ

行動ス

(2) 徐州ニハ現在北支方面軍ノ直接指導ノ下ニ中國青年黨ナル初級中學

ヲ昨年九月ニ開設シ日本憲兵將校ヲ教官トシテ指導シアリ新民會ノ前衛闘士ヲ養成スルヲ主眼トス

徐州中國青年黨ノ首領ハ和平救國第三軍々長劉紹琨ニシテ現在約二千人ノ青年ヨリ成リ軍本部ヲ蕭縣ノ黃口ニ置ク

(3) 徐州ヲ中心トセル蘇北地區ハ二市十七縣ニシテ一縣ハ概ネ七、八區

ニ區分サル其ノ内臨時政府ニ納稅シ來ルモノハ僅カニ一、五ノ率ニ過キス其ノ他ハ何レモ蔣政權ニ支配サレアルヲ以テ納稅ヲ忌避スルモノ多シ

猶ホ縣廳ヲ離ル部落等ハ頗ル危險ニシテ通行等モ容易ナラス特務機關

長ノ言ニ依レハ徐州附近ノ治安狀態ハ一昨十三年十一月頃カ最モ善ク昨年四、五月頃(四月攻勢)カ最モ悪ク現在ハ其ノ中間ニ在リ

三、徐州ニ對スル所感

徐州ハ北支ト中支トヲ連絡スル蘇北ニ於テハ軍爭、政治、經濟、産

榮交通等諸事ノ點ヨリ最モ重要ヲ帶ヒル都市ナルヲ以テ日支共ニ速ニ治安回復ヲ切望スル所ナリ從テ蔣介石側ニ於テモ此ノ重要性ヲ認メ居ルヲ以テ妨害スルコトヲ怠ラス故ニ徐州ニ於ケル治安ハ未タ良好トハ認メ難キ状態ニ在リ

其ノ四 開封 調査日二月二十七日

一、(1) 臺間

城内ハ大體良好ニシテ單獨行動ヲトルモ殆ント危險ナキモ一度城外ニ出ツレハ甚タ危險ナリ城ヲ離ル、ニ從ヒ一層倍加ス

(2) 城間ト雖トモ單獨行動ハ危險ナリ

二、交通

(1) 鐵道

開封、大浦間ノ隴海線ハ一日一回又開封新郷間ノ新開線ハ一日二回ノ運轉ヲナシアルモ最近ハ殆ント鐵路ノ爆破又ハ襲撃等ヲ受ケタルコト無シ

(2) 電信電話

最近ハ殆ント妨害ヲ受ケス

三、治安維持ノ對策

- (1) 城内外共ニ日本軍隊及中國警備隊並ニ省警備隊ニヨリ警備シ治安維持ニ任シアリ警備隊ハ日本軍ト協力シテ時々匪賊ノ討伐ヲ行フコトアリ警備隊ハ本部ヲ河南省豫北道ニ置キ主トシテ歸順兵ヲ以テ組織シ其ノ人員目下二千五百名ニ達シ漸次増加ヲ計リツ、アリ
- (2) 開封ニハ河南省警備訓練所アリ日本憲兵將校一名下士官三名外ニ教練及武道教官三名ヲ採用シテ教育及訓練ヲ實施シアリ
- (3) 市及縣ニハ河南省自衛團ヲ昨年五月ニ組織シ現在成立シタルモノニ十二縣ニ達ス警備隊ト協同シテ各々其地ノ治安維持ニ任セシム各縣自衛團ニハ日系職員一名(憲兵)ヲ配シテ訓練シアリ

四、開封ニ對スル所感

開封ハ河南省ノ最東北端ニ位シ日本軍ノ占領區域中河南省トシテハ僅ニ一步ヲ踏ミ入レタニ過キス敵勢力ノ據點タル鄭州ト最モ近接セル所ナルヲ以テ四周ノ關係未タ頗ル不安ノ狀況ニ在リ從ツテ同地警備ノ軍隊モ檢問檢索至極嚴重ニシテ如何ニモ最前線タルコトヲ感セシム

其ノ五 太原及榆次

調査日自三月一日至三月四日

(1) 晝間

太原及榆次共ニ城内ニ於テハ治安良好ニシテ單獨行動ヲナスモ何等ノ不安ナキモ城外ニ於テハ頗ル危険ニシテ自動車ヲ以テスル行動モ保證シ難シ本年一月末太原ヨリ榆次ニ通フ「バス」カ午前八時三十分頃榆次西方約一里ノ地點ニ於テ會々移動中ノ匪賊ト遭遇シ射撃ヲ受ケ日本人運轉手一名即死シタリ其ノ後被害ナシ又榆次ニ於テハ昨年十二月末同地ニ在リテ新聞配達ヲナシ居ル日本人夫妻カ匪賊ノタメニ拉致サレ其ノ後ノ消息不明ナリ

又太原及榆次ヲ距ル二、三支里ノ農村ニ於テハ白晝匪賊ノ掠奪ヲ受クルコトアリシモ最近ハ餘程減少セリ尙ホ太原ヲ距ル數里ノ部落ニ於テハ共産軍カ特ニ日華人ノ公務員ヲ狙ヒ虐殺又ハ拉致サル、コトアリ

(2) 夜間

兩所共城内ハ危険ナキモ一步城外ニ出ツレハ相當危険ナリ因ニ山西

省内ニハ九十五縣アルモ省政府ノ威令ノ行ハレアルモ六十縣ニシテ之等モ全部完全トハ謂ヒ難シ中ニハ偽縣長モアリテ民衆ハ省政府ト共產軍ト兩方ニ税金ヲ納メ居レリ

二、交通

(1) 鐵道

太原石家莊間及太原運城間ハ一日二運轉、太原大同間ハ一日一運轉ヲナシアリ太原石家莊間ハ近來匪賊等ノ被害ヲ受クルコトナキ良好ナル状態ニアルモ他ノ二線ハ時々線路ノ爆破ヲ受クト

(2) 電信電話

夜間ニ於テ時々電線ノ切斷又ハ電柱ノ燒却或ハ切り倒サル、コトアリシモ最近著シク減少セリ

三、治安維持ノ對策

(1) 太原及榆次共ニ日本軍隊、省或ハ縣警衛隊並ニ警察隊カ協同シテ治安維持ニ任ス

(2) 警備隊ハ武裝部隊ニシテ省又ハ縣城内外ノ警備ニ當ルノ外日本軍ト協同シテ匪賊又ハ共產軍ノ討伐ヲモ行フ其ノ編成ハ大隊編成ニシテ

大要左ノ如シ

大隊

本 部
三ヶ中隊

中隊

本 部
三ヶ分隊

分隊 (三ヶ班)

大隊長ハ知事之ヲ兼ネ外ニ副隊長(大、中校級)中隊長ハ小校又ハ大尉、分隊長ハ中、少尉、班長ハ下士トス其ノ人員ハ大隊本部ニ將校八名、中隊ニハ長ノ外副長アリ中隊長以下百十七名ヨリ成ル
現在山西省全部ニテ總員三千四百九十六名アリ將來益々増加ヲ計リツ、アリ

將校ハ中等學校以上又ハ高等警官學校卒業者及歸順セル元來ノ將校ヲ採用シアリ

(3) 警察隊、太原ニハ省甲種警察訓練所アリテ警長以上ノモノヲ再教育

ス其ノ期間ハ三ヶ月トシ一回約百五十名ヲ收容ス

指導者ニハ日系官吏(憲兵將校一、下士官二、)ヲ採用ス又各道ニ

ハ乙種警察訓練所ヲ設ケ一般警察官ノ再訓練ヲ行フ其ノ期間ハ二ヶ

月トス所在地ノ日本憲兵隊ヨリ將校又ハ下士官ノ派遣ヲ受ケ指導ス

(4) 自衛團、各市、縣ニハ自衛團ヲ組織シアリテ縣警備隊或ハ日本軍ト

連絡シテ其ノ他ノ治安維持ニ任ス

現在山西省全体ノ總數ハ六萬九千七百五十名ニ達セリ將來之等ノ者ハ精神的ニ結合スル様強化ヲ圖リ居レリ

(5)

興亞黃軍、武英、尉軍ヲ總司令ニ熊飛氏ヲ參謀長トセル興亞軍ハ滅共救國ノ大旗ヲ翳シテ三月十六日太原ニ於テ成立シ同時ニ總司令武英將軍ハ左ノ如キ通電ヲ汪精衛氏ヲ始メ北京臨時政府、南京維新政府、張家口蒙疆政府ノ各要人竝ニ廣州和平救國軍黃將軍、各省、市長其ノ他全國各機關ニ向ツテ發シタ

惟フニ蒼天弔セス赤魔我カ中國ヲ禍シ民生塗炭ニ苦シム重慶政府ハ隣邦ト交ハルニ無道輕々シク戰端ヲ啓キ共ヲ容レ民ニ殃ヒシ戰禍蔓延シテ既ニ二歳ヲ逾ユ山河破裂シ荆棘地ニ遍シ各地ノ民衆ハ戰禍ノ慘痛ニ堪ヘス齊起シテ和平ヲ喚ヒツ、アリ東亞新秩序ノ建設ハ實ニ中日兩大民族共同切實ナル要求ナリ英、幼ニシテ誓ヲ習ヒ長シテ軍事ヲ學ヒ土兵ヲ統領シ軍務ニ歷任ス半世成馬ニ在リテ備ニ艱難ヲ嘗メタリ近年病ヲ養ヒテ閑地ニ逸シ久シク世俗ノ心ナカリキ國家ノ困難ヲ念ヒ目ヲ時艱ニ歎テ同胞ノ流離顛沛ヲ哀シミ水深火熱叔トシテ心ヲ傷マシム近ク汪精衛先生ノ特便及ヒ各方面ノ慫慂ヲ受ケ不敏其

ノ任ニ非スト雖トモ多難邦ヲ興スノ意義ヲ繼キ一視同仁ヲ旨トシ以テ與亞建國ノ責ヲ自ラ負ハントス茲ニ太原ニ在リテ部屬ヲ招集シ與亞黃軍總司令部ヲ組織シ已ニ本月十六日裝備緒ニ就キ本部ニ於テ成立ノ典禮ヲ舉行シ同時ニ與亞黃軍總司令ノ職ニ就任ス即日大小ノ閑防印章ヲ用ヒ謹シテ學ニ當ラントス誠ニ職責繁重ニシテ各方ノ囑望ニ對ツルニ淺學^非才^非隕越スルトコロアラントヲ恐ル冀クハ全國ノ軍政領袖各方ノ賢達時ニ指針ヲ賜リ援助鞭撻切望ニ任ヘス聊カ書ヲ呈シ微衷ヲ述フ恐懼謹言斯ノ如シ

尙與亞黃軍ノ標榜スル指導精神ハ左ノ十六項目ノ如キモノテアル

1. 與亞黃軍ハ東亞和平ノ指導者テアル
2. 東亞和平ノ生メル軍隊テアル
3. 新東亞建設ノ先鋒隊テアル
4. 直正ノ人民ノ軍隊テアル
5. 新東亞ノ一切ノ障礙ヲ排除ス
6. 明朗ノ中國樂土ヲ建設セントス
7. 王道ヲ以テ新東亞ヲ建設ス

四 太原ニ對スル所感

- 8、黄色人種ノ救星テアル
 - 9、黄色人種生存ノタメニ戰フ
 - 10、奮闘ヲ以テ興亞ノ前提トナス
 - 11、黄色人種ノ安居樂業ヲ擁護ス
 - 12、東亞社會ノ安定ヲ保障セントス
 - 13、大無畏精神ヲ主トシ王道ヲ以テ異端邪說及一切ノ不正當ナル勢力ヲ掃滅ス
 - 14、山西民衆ノ救星ナリ
 - 15、絶對ニ山西民衆ノ安寧ヲ保障ス
 - 16、剿共^ニ努力ス
- 太原ハ學變前マテハ自ラ山西王ヲ以テ任セル閻錫山カ「モシロト」主義ヲ振り廻ハシ殆ント外部トノ交渉ヲ絶ソテ専ラ保守的ニ山西ノ富強兵ヲ圖リタルコトハ既ニ世ノ知ル所ナリ管内至ル所ニ埋藏セル無限ノ資源ハ専ラ山西ノ人々ノミニヨリテ開發セラレテ太原ニ集メ各種ノ機械工場ヲ設立シ山西王國ヲ樂ミ居タル狀況ハ學變後ノ今日

ニ於テモ流石ニ僂ハレル夫レ丈ケ今事變ニ於テハ抗日思想強硬ニシテ防戦相努メ夫レカタメ至ル所破壊ノ憂キ目ニ會ヒ見ル人ヲシテ慄然タラシムルモノアリ事變前ノ太原ニ復興スルニハ今後幾多ノ歲月ヲ要スルコトナラン

其ノ六保定 調査日自三月六日至三月七日

一、治安現狀

(1) 晝間

城内外共ニ數里ノ間ハ治安狀態良好ニシテ何等ノ危險ナシ之レカタメ城門ノ警戒モ日本軍ハ之ヲナサスニ専ラ中國警備隊及警察ヲシテ守ラシム

(2) 夜間

城内ハ殆ント安全ナルモ城外ハ單獨行動ハ未タ保證シ難キ狀況ニア

二、交通

(1) 鐵道

保定北京間ハ一日三運轉、保定、石家莊間ハ一日二運轉シアリテ最

近ハ何等被害無シ

(2) 電信電話

本年ニ入りテ一、二回電線ヲ切斷セラレタルコトアルモ之レ亦最近ハ被害ナキニ至レリ

三、治安維持ノ對策

(1) 保定城内ニ於ケル治安ノ維持ハ日本軍及中國警備隊並ニ警察隊ニヨリ維持セララル

(2) 省公署直接警衛ノタメニハ警衛隊（武装シ小銃及自動銃等ヲ有ス）アリ道及縣ニハ警備隊アリ警備隊ハ日本軍及縣警察ト協同シテ其ノ他ノ警備ニ任スル外時トシテ匪賊ノ討伐ヲナスコトアリ警備隊ノ編成ハ概ネ太原ニ於ケルト同様ニシテ一中隊ノ人員ハ七十乃至百名ヨリ成ル將校ハ從來ヨリ軍人及警察官中優秀ナルモノヨリ之ヲ採用シ月俸四十圓乃至百二十圓ヲ給ス

下士及兵ハ傭兵制度ニシテ義務年限ノ制度ナク本人ノ希望ニヨリ何時ニテモ解職ス月給ハ下士十三圓乃至十八圓、兵卒ハ十二圓以下ナリ、被服ハ全部官給ニシテ三分ノ二以上ノ人員ニ對シ小銃又ハ拳銃

ヲ所持セシム

(1) 警察、保定ニハ河北省警察教練所アリ甲乙兩種ニ別レ甲種ハ省内全

管内ノ警長ヲ乙種ハ道内ノ警察官ヲ養成ス日本憲兵中佐カ教務主任

トナリ外ニ憲兵出身ノ下士官二名ヲ教官トシテ教育シアリ

(4) 自衛團ハ各縣ニ設立シ専ラ民衆組織ニシテ知事ニ責任ヲ持タセ養成

シアリ各國警察隊ト連絡シテ各其ノ地ノ治安維持ヲ補助セシム

四 保定ニ對スル所感

保定ハ今事變中最早ク事變處理ノ完了シタル關係上他ニハ見ルコ

トノ出來又程治安ノ回復シタルヲ感セシム殊ニ城門ニ日本軍ノ歩哨

ヲ置カサル如キハ如何ニ治安ノ回復シタルカヲ立證スルニ足ル

其ノ七 滿城 調査日三月九日

一、(1) 晝間

滿城縣ハ縣内ヲ六區ニ區分ス、縣廳所在地(滿城)及東南、東北方

面ニ在ル第二、第三區ノ治安ハ概ネ良好ニシテ第一、第四區ハ之ニ

次キ西北、西南方面ニ在ル第五、第六區ハ山地々帶ナルヲ以テ赤匪

楊成武ノ一味カ盤踞シ赤匪ノ出沒頻繁ナリ

(2) 夜間

概シテ晝間ニ於ケルト大差ナキモ第四區ノ万順橋附近ニハ八路軍潛入シ來リテ掠奪及青年等ヲ拉致ス

三 交通

(1) 鐵道

同縣内ニハ鐵道無シ保定滿城間ハ目下「バス」カ通行シアルモ晝間ノミナルヲ以テ殆ント危險ナシ吾等一行ノ視察ニ際シテハ河北省公署ヨリ自動車ヲ提供シ又涿苑縣ヨリハ警衛兵十四名ヲ特ニ差出シ護衛ヲ受ケタルヲ以テ何等ノ尋故ナカリキ

(2) 電信電話

滿城ニハ城内丈ケニ電話ヲ架シアルヲ以テ被害ナキモ保定滿城間ノ日本軍用電話ハ時々電線等切斷セラルト

三、治安維持ノ對策

(1) 縣公署所在地ニハ少數ノ日本軍隊アリ縣警寮ト協同シテ治安ノ任ニ當リ居レリ

(2) 警察、教育實施並ニ工作ノ概要

警察官吏ノ精神ノ振作素質ノ向上ヲ圖ランカタメ民國二十八年十月二十日ヨリ毎朝七時ヨリ八時三十分迄ノ間ニ一齊ニ基本訓練ヲ實施ス又署本部並ニ各分所ヨリ計十名ノ警察官ヲ選出シテ一ヶ月間ノ學科講習ヲ施シト半ケ年間ニ縣内全員ニ之ヲ實施スル如ク豫定計畫シ現在第一回ノ講習ヲ終了セリ實務ノ方ハ特別工作班ヲ組織シ訓練ヲ受ケタル警士ヲ以テ班員ニ充當シ大衆思想、社會狀況ノ視察、情報ノ蒐集等ノ工作ニ當ラシム

又絶エス馬廠、干冢莊、方順橋、江城等治安不良ノ地へ出張シテ實際民衆ノ苦ミ並ニ警察ニ對スル一般ノ感想等ヲ聽取シ以テ警察官吏ノ自肅自戒ヲ促シ任務ノ遂行ニ努力セシメアリ同縣ニ於ケル警察組織ノ概況左ノ如シ

- 第一區 十六村村團員 三四五
 第二區 四十六村村團員 五四七
 第三區 二十八村村團員 六六三
 第四區 三十三村村團員 六五三
 第五、第六區ハ治安不良ノタメ未結成ナリ

四滿城ニ對スル所感

滿城縣内ニ於ケル匪賊ハ八路軍獨立第一師揚成武ノ指揮ニ屬スル約五千名ニシテ第五、第六區ノ山嶽地帯ニ盤踞シアリ幹部以下比較的
 教育ヲ受ケタル青年等ヲ以テ組織シ其ノ勢力中々侮リ難キモノアリ
 而シテ第五第六區ノ住民ハ概ネ其ノ勢力圈内ニ支配サレ婦女子ニ至
 ルマテ共產教育ヲ強要セラレアリ殊ニ日本人ト關係アルコトヲ知ラ
 ル、ヤ忽チ捕ハレ奸漢ト稱シテ公衆ノ面前ニ於テ殺害サル
 本年二月中頃八路軍第三團第三連ノ梁仁貫トイフ一匪賊カ歸順セリ
 其ノ言ニ依レハ第三團ハ近來兵力モ増加シ裝備モ頗ル完備シ一連毎
 ニ精巧ナル機銃六挺ヲ有スト。以上狀況ニ依リ同縣内ノ治安ヲ圖ル
 ニハ先ツ揚成武ノ共產軍ヲ徹底的ニ覆滅スルヲ要ス